

Etsuko Terada & Kikuo Watanabe Duo Piano Concert

寺田悦子&渡邊規久雄

デュオ・ピアノ・コンサート

四手連弾の宇宙Ⅱ ドイツ・ロマン派の春

メンデルスゾーン:変奏曲 変ロ長調 Op.83a U159

F. Mendelssohn: Andante con Variazioni B-Dur Op. 83a U159 für 4 Händen

シューマン:東洋の絵「6つの即興曲」Op.66

R. Schumann: Bilder aus Osten '6 Impromptus' Op. 66 für 4 Händen

メンデルスゾーン:アンダンテと華麗なるアレグロ イ長調 Op.92

F. Mendelssohn: Duett, Andante und Allegro assai vivace A-Dur Op. 92 für 4 Händen

作曲者による
連弾版

シューマン:交響曲第1番《春》

変ロ長調 Op.38

R. Schumann: Sinfonie Nr. 1 B-Dur Op. 38 "Frühling" für 4 Händen

*曲目・演奏順は変更になる場合がございます *未就学児の同伴はお断りいたします

2021年6月26日(土) 14:00 開演 紀尾井ホール

2:00p.m., Saturday, June 26, 2021 at Kioi Hall 麴町・赤坂見附・永田町から徒歩8分/四ツ谷から徒歩6分

全席指定 S¥6,000 A¥5,000 A学生券 ¥3,000 (税 込)

<ジャパン・アーツ夢倶楽部会員 全席指定 S¥5,400 A¥4,500>

特別割引
チケット

◎A学生券=社会人学生を除く公演当日に25歳までの学生が対象で、夢倶楽部会員で学生の方も同価格です。
当日は学生証を拝見いたします。ジャパン・アーツびあコールセンター および WEBジャパン・アーツびあで受付いたします。
◎車椅子席=ご本人と付き添いの方1名が割引になります。ジャパン・アーツびあコールセンターで事前にご予約ください。

4月10日(土) 前売開始 <ジャパン・アーツ夢倶楽部会員>WEB 4/3(土) 10:00 TEL 4/4(日) 10:00 <ジャパン・アーツびあネット会員>WEB 4/8(木) 10:00

ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp/ チケットびあ t.pia.jp 0570-02-9999(Pコード 194-542)
イープラス eplus.jp ローソンチケット 0570-000-407(Lコード 33671)

【主催】ジャパン・アーツ 【後援】国際ピアノデュオ協会、公益財団法人 日本ピアノ教育連盟、日本ショパン協会、公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

「春」、愛と希望に輝く連弾の宇宙

音楽作家 ひのまどか

昨年11月の《四手連弾の宇宙I》でベートーヴェンの「大フーガ」を取り巻く壮大な宇宙を紹介してくれた寺田・渡邊デュオが、今度はシューマンの「春」で我々を愛と希望の宇宙に誘ってくれる。

「春」は、もちろんシューマンが三十歳の時に書いた《交響曲第1番》のこと。それまでの5年間、愛し合う十歳下のクララとの仲を彼女の父ヴィークに引き裂かれていたシューマンが、長い裁判に勝ってようやく結婚出来た直後に書いた交響曲である。その歓びが創作力の爆発となり、僅か2ヶ月で完成させた。

「私たちはシューマンの音楽が大好きで、ピアノ独奏曲や室内楽曲のほとんどを弾いてきました。4曲の交響曲も度々聴いていて、その音楽に迸る情熱、心躍るリズム、自由な感情表現をかけがえのないものと思っています」と二人は語る。「昨年運良くシューマン自身の手になる交響曲連弾版の楽譜を手に入れたので、全4曲を二人で弾いてみた結果、今回のコンサートのメインは「春」!と決めました。この曲は名ピアニストの新妻クララと一緒に編曲していることもあって、オーケストラの音が実に巧みにピアノに置き換えられ、普段なかなか聴き取れない内声も見事に浮かび上がってきます。もう1曲の「東洋の絵」は“ロマン派の連弾曲の最高峰”と言われる傑作で、ずっと弾きたいと思っていた作品です」。

シューマンと組み合わせた作曲家は、人間的にも音楽的にも共感し合っていた友人、メンデルスゾーン。彼の稀少な連弾曲から2曲を選んでいますが、こちらはプリモとセコンドが高度なテクニックと音楽性を競い合う華やかな作品だ。シューマン、クララ、メンデルスゾーンが天賦の才を発揮しながら活躍していた“19世紀ライブツイヒの音楽界”を彷彿とさせる舞台になりそうだ。

コロナ禍の自粛期間をプラスに捉えてレパートリーの拡充と研鑽に励む寺田・渡邊デュオは、我々に明るい明日を示唆してくれるだろう。

《四手連弾の宇宙》シリーズでは、今後もモーツァルト、シューベルト、ブラームス他の連弾作品を演奏していく予定です。どうぞご期待ください

寺田悦子

Etsuko Terada

独自の企画性に富んだソロ・リサイタルや渡邊規久雄とのデュオ・コンサートを通して、透明感のある音色と豊かな情感で聴衆を魅了する寺田悦子は16歳でウィーンに留学。2019年にデビュー50周年を迎え、3回の記念コンサート・シリーズを展開してきたことは記憶に新しいところだ。

ルービンシュタイン自身が審査した1977年第2回ルービンシュタイン国際ピアノ・コンクール第3位金賞、1978年第6回リーズ国際ピアノ・コンクール入賞、日本ショパン協会賞、飛騨古川音楽賞などを受賞。東京・名古屋・大阪をはじめとする国内各地でのリサイタルやN響をはじめとする日本の主要オーケストラとの共演はもちろん、「プラハの春」などの国際音楽祭出演、イスラエル・フィル、ヘルシンキ・フィル、ドレスデン・フィル、北BBC響等数多くの海外オーケストラとの共演、英国、ドイツ、フィンランド、ロシア、ラトヴィア、アメリカ、メキシコ、パナマ、ペルーでのソロ・リサイタル、ニューヨークのカーネギーホールでの演奏等、国際的な活躍を展開してきました。

日本音楽コンクール、東京音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール全国大会等数多くのコンクール審査員を務め、またドイツやオーストリアで演奏とマスタークラスを行うなど、後進の指導にも積極的にあたっています。CDにショパン作品集「ノアンI」「ノアンII」、渡邊規久雄とのデュオ・ピアノ「春の祭典&ラフマニノフ」(レコード芸術特選盤)など。

渡邊規久雄

Kikuo Watanabe

北欧、特にフィンランド音楽に造詣が深く、中でもシベリウスを生涯のライフワークとして演奏活動の中心に据えている渡邊規久雄。2003年、2007年、2010年、2015年、そして2019年と5回にわたって歩んできたシベリウスのピアノ音楽全曲シリーズがすべてCD化され、シベリウス生誕150年記念の年であった2015年にはNHK-BSプレミアムのクラシック倶楽部『シベリウスの室内楽の世界』に出演、東京と大阪で行ったオール・シベリウス・プログラムによるリサイタルの東京公演はNHK-FMで放送されるなど、シベリウス・ピアノ音楽の第一人者として活躍してきた長年の功績は、2015年12月にフィンランド・シベリウス協会から歴史と伝統ある《シベリウスメダル》を授与されるという栄誉に結実しました。

1974年インディアナ大学を成績優秀賞で卒業、1976年に同大学院を修了。1976年7月のデビュー・リサイタル以降、ショパンのポロネーズ全曲、シューベルトの最後の3曲のソナタ、シベリウス・プログラムなどによるリサイタル、ラトヴィアの首都リガやヘルシンキ、東京、大阪、名古屋等での寺田悦子とのデュオ・コンサート、国内はもとよりサンクトペテルブルグ、モスクワ、ハバロフスクなどでのオーケストラとの共演など、国内外で精力的に演奏活動を行っています。CDに「シベリウスのヴァイオリン作品集I・II(ヴァイオリン:佐藤まどか)」など。武蔵野音楽大学ピアノ科特任教授。大阪ザ・フェニックスホール音楽アドバイザー。

<次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい>

- ①やむをえない事情により、曲目などが変更になる場合がございます。
- ②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。
- ③いかなる場合も再発券はできません。紛失等には十分ご注意ください。
- ④演奏中は客席に入れません。
- ⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また就学児以上の方もご入場にはチケットが必要です。
- ⑥この公演はすべて指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。
- ⑦他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。
- ⑧場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話の使用、これらに類する行為は固くお断りいたします。
- ⑨ネットオークションなどによるチケット転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。

Etsuko Terada & Kikuo Watanabe Duo Piano 'Le sacre du printemps'

寺田悦子 & 渡邊規久雄 デュオ・ピアノ “春の祭典”

レコード芸術
特選盤

ストラヴィンスキー：舞踊音楽「春の祭典」
ラフマニノフ：組曲第2番 Op.17

TRITON OVCT-00084 ¥2,857+税

録音：2012年3月7日-9日 富山・北アルプス文化センター